

育成を目指す資質・能力

富山県提供

- (1) 材料に適した味の付け方、材料に適したゆで方、いため方、栄養素の種類と主な働き、食品の栄養的な特徴、料理や食品を組み合わせる必要性、献立を構成する要素、1食分の献立の立て方、物の選び方、買い方、環境に配慮した調理の仕方等について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
(知識及び技能)
- (2) 1食分の献立の栄養のバランスや買物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 家族の一員として、生活をよりよく工夫しようと、栄養のバランスを考えた食事や買物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。
(学びに向かう力、人間性等)

ICT活用のポイント

献立を見直す個別学習の場においてICT機器を使うことにより、材料等の加減や入れ換えを画面上でスムーズに行うことができ、献立を容易に修正できる。また、グループでの話し合いにおいて友達の献立内容のよさや気付きを交流しやすくなり、1食分の献立をよりよく改善することができる。

【本時8/10時の流れ】

学習課題の確認

栄養教諭の話

個別の見直し活動【活用①】

グループでの交流【活用②】

学習の振り返り

事例の概要

- ★家族を笑顔にする1食分の献立を、さらによりよくするための改善を考える一時間である。
- 個別の見直し活動【活用①】
 - ・児童は栄養教諭の話から、改善のポイント（主として栄養のバランス、その他旬の材料の活用、味のバランス、色どり）と操作の手順を理解し、献立を修正する。
- グループでの交流【活用②】
 - ・見直し前の献立（紙面印刷）と見直し中のICT端末の画面を比較し、よさや気付きを伝え合い、よりよい改善を図る。
 - ・改善のポイント別に色分けした評価カード（付箋）を使って、相互評価する。

小学校・第6学年・家庭科・題材名「まかせてね今日の食事～笑顔いっぱい杉っ子スマイル食堂～」

内容B (2) ア(ウ)(エ)、イ、(3) ア(ア)(イ)(ウ)、イ 内容C (1) ア(イ)、イ、(2) ア、イ ②

【事例におけるICT活用の場面①】



【見直しポイントを基に、個別に献立を改善する場面】

- ・材料等の見直し（加減、変更）をする際に、ICT端末上で栄養素別に色分けされた材料カード等を移動することで、児童一人一人が献立の改善について試行錯誤できる。
- ・教師は前時の児童が考えた献立を把握し、実態を基にした「指導に生かす評価」（「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手立てを考えるための評価）を行うことが可能であり、本時のねらいの達成に向けて、個に応じた指導を行うことにつなげることができる。

【事例におけるICT活用の場面②】

改善後（ICT端末画面）

1回目のメニュー作りで工夫したこと

- ・自分が作れそうなもの
- ・主菜（かぼちゃコロッケ）に合いそうな副菜（マカロニサラダ）を選んだ
- ・5たい栄養素がそろったようにした

玉ねぎをなくした

ここを改善しました！

マカロニサラダ

- ・玉ねぎをなくした（みそ汁のネギと取っているから）
- ・いろどりをよくするため、旬のものを使うためブロッコリーを入れた
- ・いろどりをよくするためにトマトも入れた
- ・みそ汁に具が少なかったからなめこを入れた

伝え合う児童

【グループで見直しを伝え合い、さらに改善を図る場面】

献立内容の見直し前の画面（印刷）とICT端末上の画面を比較し、見合うことで、献立内容の見直しの具体を容易に伝え合うことができる。また、具体的に沿って互いにアドバイスをし合うことが可能になるので、友達の助言を取り入れ、その場で献立の改善を図りやすくなる。